

6月の月一レターです。

(2021.06.22)

梅雨ですね。ムシムシしますね。マスク生活にも随分慣れましたが、少し動くと汗でビショリになります。コロナ情報番組による耳学問で「変異ウイルス対策には不織布マスクが一番良い」ということなので、スーパー等に外出する時は不織布マスクにしていますが、顔中汗まみれになり、ほっぺにアセモができそうになりますが、皆さんは如何ですか？



これからの時期は熱中症にも気を付けなければならないですね。

コロナ対策と熱中症対策をしながら、どちらにも罹らない様に元気に過ごしましょうね。

●～●～●～●～●～●

《第74回こんぼ亭月例会》

オンライン開催！ ～申込み受付中！～

【テーマ】「話を聴く」 『ラブというコミュニケーション～話を聴くって何だろう～』

【お客様】 ○ イトウ せいこう氏：作家・クリエイター

○ 星野 概念氏(ほしの がいねん)氏：精神科医・ミュージシャン

【こんぼ亭「亭主」(ご案内役)】

○ 市来真彦氏：東京医科大学精神医学分野准教授

【日時】2021年7月3日(土) 13:00～15:00 /オンライン開催

【参加費】 ○2500円 ○グループ参加(3人まで)6000円

○コンボ賛助会員1500円 ※コンボ賛助会員とは：https://www.comhbo.net/?page_id=5759

【申込】 ○クレジットカード決済 ○コンビニ支払い等に対応：<https://comhbotei74.peatix.com/>

※申込締切:6/30(水) ※コンビニ支払いの場合は6/29(火)

※当日参加はできませんのでご注意ください。

※開催後オンデマンド配信いたします。(参加申込された方のみ)の限定公開)

【お問合せ】認定NPO法人コンボ「こんぼ亭」係

○TEL:047-320-3870

○FAX:047-320-3871

○EMAIL:comhbotei@gmail.com

星野さんからのメッセージ

今度こんぼ亭で、作家のイトウせいこうさんとお話をする精神科医の星野概念です。僕は診察の時もそうでない時も、話を聴くことを大事にしたいと考えています。当然といえば当然のことですが…。話を聴くといえば、傾聴という言葉があります。これについて、なんとなく共通したイメージがあるような気がしていますが、よく向き合ってみると、その姿はとてもあやふやで、つかみきれません。

2018年に、イトウさんと僕は、「ラブという薬」という対談本を出版しました。思いつく色々なことについて、思いつくままに話し合う中で、傾聴の話題にもなりました。本の中でイトウさんは、「傾聴は愛だと思おう」と言っています。それを聞いて、「は？」となりかけましたが、今ではその意味がよく分かる気がしています。話を聴き続ける、かかわり続ける――ということは、僕にとって簡単なことではありません。とても大切なことだし、一見簡単そうなのに一筋縄ではいかないのです。だから、このこんぼ亭で、イトウせいこうさん、そして皆さんと一緒に「話を聴くって何だろう」ということを考えてみたいのです。

☆ 詳細はコンボのHPから：https://www.comhbo.net/?page_id=29316&utm_source=mm&utm_medium=email

☆ 案内チラシはこちらから：<https://www.comhbo.net/wp-content/uploads/2021/04/comhbotei74online-flier.pdf>